

イノシシがおいしい料理になりました 串焼き、唐揚げ、タルトに みんなで食べるイベントがありました

河北新報やさしい日本語ニュース 2023年2月22日

イノシシは、山や森に住んでいる動物です。でも、時々、町の近くに出で
きます。そして、野菜や稲を食べたり、畑や田んぼを壊したりすることがあ
ります。ですから、農家の人はとても困っています。

それで、宮城県大崎市は岩出山真山に、捕ったイノシシを肉にする場所を作
ることにしました。そして、イノシシの肉がおいしいことを知ってもらうため、
11日にイノシシを使った料理を食べるイベントをしました。

イベントでは、5種類の料理が出ました。肉の間にトマトとチーズを入
れた串焼き、唐揚げ、バナナと肉を使ったタルトなどです。近くに住んでい
る人たち50人ぐらいが集まりました。食べた人は「思っていたよりも、や
わらかい」「イノシシのパワー（力）を感じます」などと驚いていました。

主婦の吉永みよ子さん（69歳）は、唐揚げがおいしかったそうです。「自
分の庭や畑をイノシシにだめにされて嫌でした。でも、大嫌いな相手がお
いしい料理になると分かりました」と喜んでいました。

料理を作ったのは、フランス料理シェフの藤木徳彦さん（51歳）です。

藤木さんは「悪いことをする動物だからではなく、おいしいからイノシシの

にく^{りょうり}を料理して「います」と話^{はな}してました。

イノシシをにく^{しごと}にする仕事は、8月^{がつ}から始^{はじ}まります。前^{まえ}は小学^{しょうがっこう}校^{だつた}だった
たてもの^{つか}を使^{つか}います。そして、秋^{あき}からその肉^{にく}を売^うるそう^{です}。真山^{まやま}に住^すんでいる
ひと^でつくる「まやま^{じちかい}自治^{たかはしまさひろ}会^{かい}」の高橋^{たかはしまさひろ}雅博^{かい}会^{ちよう}長^{さい}（51^{さい}歳）は「イノシシのこ
とを何^{なん}とかしたいと考^{かんが}えてスタート^{しました}。これからはイノシシの良^よいと
ころをどう利用^{りよう}するか、考^{かんが}えていき^{たい}たいです」と話^{はな}しました。



【河北新報社提供】



やってみましょう

ぶんよんで、ただ正しいものに○、ただ正しくないものに×を書いてください。

- ① () イノシシは、野菜や稲を食べることがあるので、農家の人は困っています。
- ② () イノシシの料理を食べた人は、おいしいと思いませんでした。
- ③ () フランス料理のシェフは、イノシシが悪いことをする動物だから料理しています。
- ④ () イノシシを肉にするために使う建物は、前は小学校でした。



書きましょう

みやぎけんおおさきしと捕った_____を_____にする場所を_____

ことにしました。11日にイノシシを使った_____を食べる_____

をしました。イノシシを肉にする_____は、_____月から_____ます。

そして、_____からその肉を_____そうです。



話しましょう

1. 「牛、豚、鶏」のほかに、イノシシのような動物の肉を食べたことがありますか。
2. 日本では、山にいる動物が、人の住んでいる所に出てくるようになりました。どうしてだと思いますか。あなたの国や町ではどうですか。